

令和2年度指定管理業務に関する事業報告書（特養）

施設名 京都市柘野特別養護老人ホーム

1 施設の管理運営

〔利用定員〕 長期利用：50名 短期利用：4名 〔介護保険給付対象サービス〕 施設ケアマネジメント、日常生活上の相談援助、介護（食事・入浴・排泄・その他）サービス、栄養ケアマネジメント、健康管理及び療養上の指導 〔介護保険給付対象外サービス〕 食事の提供、各種行事・レクリエーション、理・美容サービス (参考) 今後実施予定の指定管理者提案内容

2 事業実施内容

〔サービス向上の主な取り組み〕 ・ 各種施設内研修の開催…「課題別研修」 （「階層別研修」に関しては、法人事業本部で開催） ・ 各種勉強会・各種施設外研修への派遣・個別ケアの推進 ・ リスクマネジメント活動の推進 ・ プリセプターシップでの人材育成（法人事業本部と連携） (参考) 今後実施予定の指定管理者提案内容 (参考) 自主事業内容
--

3 サービス提供状況

施設長：1名 生活相談員：1名 介護支援専門員：常勤兼務 4名 介護職員：常勤専従 12名 常勤兼務 4名 非常勤専従 16名 看護職員：常勤専従 2名 機能訓練指導員：非常勤専従 1名 管理栄養士：常勤専従 1名 医師：非常勤専従 1名 (参考) 今後実施予定の指定管理者提案内容

4 市内中小企業への発注に対する考え方

・同条件であれば、市内中小企業への発注を優先する。

5 施設の利用状況（施設の稼働率、利用者数、事業参加者数など）

(1) 特別養護老人ホーム（長期入所）利用者のべ人数利用者数（実績値）

16825 人

(2) ショートステイ（併設型及び空床利用型）利用者のべ人数（実績値）

1694 件

(3) 収支実績

ア 令和2年度収入状況（単位：円）

介護保険収入	158,786,886
利用料収入	39,081,582
委託料収入	
補助金収入	
寄付金収入	
雑収入	
その他	234,544
収入計	198,103,012

イ 令和2年度支出状況（単位：円）

人件費	127,721,580
事業費	35,118,284
委託費	12,726,276
小額修繕費	736,197
その他	14,706,555
支出計	191,008,892

6 施設の利用者満足度の把握

(1) 利用者満足度の把握状況

令和元年度 利用者アンケート実施〔実施期間〕 令和2年6月10日～6月30日
〔方法〕 食事、環境、職員態度、余暇・行事、その他について調査「はい・いいえ」の2択とその理由を記載。又、利用者に応じて聞き取り調査を実施。〔設問数〕12問 〔回答数〕31名/48名

(2) 利用者満足度把握の結果

食事内容、環境、余暇等要望事項あり

(3) 意見等への主な対応状況

アンケート結果を踏まえ、実現可能なものについては改善を図った。

7 その他特記事項

(1)

令和元年度家族アンケートの実施
〔実施期間〕令和2年6月15日～30日
〔回答数〕35名（回答率：81.4%）

(2)

(1) アンケート内容について
職員の対応、サービスの質、施設サービス計画書について、サービス担当者会議の内容、環境施設の雰囲気、行事、その他

8 評価（指定管理者自己評価）

令和2年度についても入所判定委員会の定期開催以外に、必要に応じて随時開催することにより、退所後の空床日数を出来る限り減らす取り組みを進めた一方で、コロナ禍による影響もあり入所に慎重な対応が求められるようになった事から、年間稼働率は94%と昨年比3.8ポイントの減となった。地域が柘野特養に期待する社会的役割については、可能な範囲で果たすことが出来たのではないかと考えている。収支の面では、サービス活動増減差額は、長期・短期入所を合わせ1200万円強を確保することが出来、またコロナ関連補助金の活用でIoT関連設備や陰圧機、空間除菌装置などを導入、また京都市予算により空調機器を更新、利用者の健康・安全の確保の取り組みを推進した。

その他、法人内研修(座学やOJT)、出張も含めた外部研修への参加を通じて、人材育成・スキルアップへの取り組みを継続。その他にも、障害を理由とする差別の解消に向けた職員研修により理解を深める事ができた。これらの取り組みにより、総合的なケアの質の向上、入所者・ご家族の満足度向上にもつながっている。今後もより高いレベルで地域の要請に応えられるよう、努めていく。